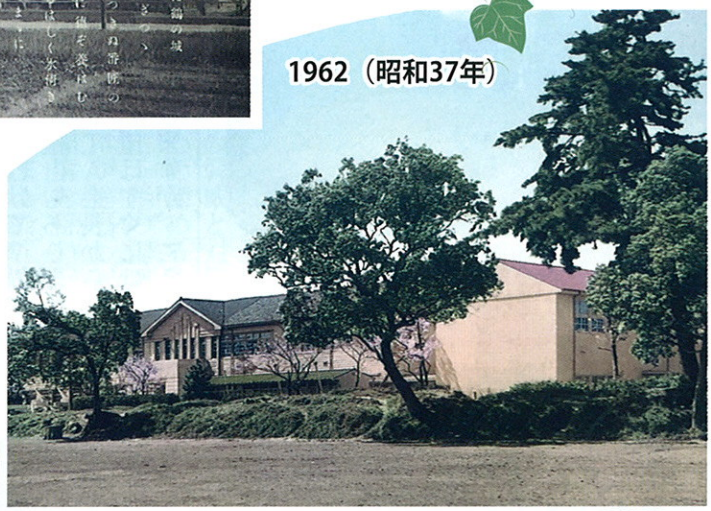
高
山姿舞鶴

発行
佐伯鶴城同窓会
会長　小寺　隆
編集
広報委員会
印刷
(有)岡沢印刷

変わりゆくもの…それは 校舎

1935 高女（昭和10年）

1962（昭和37年）



1968（昭和43年）

1983（昭和58年）

2000（平成12年）

2011（平成23年）

馬場の松

10月23日から5日間、本校2年生5名が参加するSSH米国（ハワイ）研修の引率をさせていただきました。ハワイ研修とは、本校が平成29年度より取り組んでいる防災・減災に関する研究について、米国ハワイ諸島の研究機関及び現地の教育機関と共同研究や課題研究発表会を行うために実施している研修です▼世界的に有名なイミロア天文学センターからはじまり、ハワイ郡災害対策センターやハワイ大学など、盛りだくさんの研修内容に、生徒も私もたいへん充実した貴重な体験をさせていただきました▼この研修の還元報告を、来年2月11日、佐伯文化会館で行われる成果発表会で生徒が発表しますので、たくさんの方にお越しいただけるとありがたいです▼私は英語教員なので、その研修を通して感じた「英語」のことについて触れたいと思います。私たちが訪ねる研修先で、現地の方が説明してくれたことや生徒が英語で伝えられない質問（もちろんすべて英語）を通訳してくれました。その内容は、天文学、火山、自然環境、気象など多岐にわたります。これから社会で求められる英語の力、「自分の仕事や専門について英語を道具として使って働く姿」を目の当たりにしたような気がしました▼生徒がこれから歩む20年は、私がこれまで歩んだ20年とは全く別のものになると思います。生徒のだれもが英語を使う職業につくわけではありませんが、私は英語にはその生活を豊かにする力があると思っています。「人生を豊かにする英語」を、生徒に身につけさせることができる英語教員でありたいと私自身が改めて思いました。

教諭　五十川　靖浩（高47回生）

出来ることから一つずつ

第二回、保護者のみなさんと語る会が11月12日に開かれました。

まず最初に、昨年要望が強かった2点について、トイレの改善については、県の予算がついたが、早急の箇所からなので、鶴城がいつになるかはわからない。英検の補助についても、佐伯市からの予算がつきましたとの報告がありました。今回も出た大学入試制度が変わることへの不安は、ひき続き情報を集めることを申しあわせました。

その他、夏の暑さ対策として、各部に製氷機を置いてほしい、体育館の暗幕の傷みがひどい、テニスコートが遠くて危険である等、切実な声として上がっています。

最後に、利光副会長から、夏に実施している「校長と語る会」の中学校の生徒・保護者の出席率を上げる工夫をしてほしい。木許総務委員長からは、福岡同窓会設立にむけて準備が進んでいるとの報告もありました。

安部ＰＴＡ会長からは、でた意見や要望はすぐには無理なこともありますが、こういう場を設けて下さり感謝しています。年に一回ではなく、数回もてたらいいですね。出来ることから一つずつ、協力してやっていきましょうとの言葉で締めくくりました。

みんなで食べたらおいしいね！

高校生ボランティアが活躍（子ども食堂）

中村北町に昨年6月にオープンした子ども食堂（名称どっぽちゃん食堂）幼児からお年寄りまで、毎回にぎやかに食卓を囲んでいます。

その中に、体操服できびきびと動いている本校のボランティアスタッフが加わっています。毎回、5人～10人位の生徒が手伝ってくれています。

生徒の役割りは、①受けつけ②配膳③出むかえ・見送り の3つ。簡単なようでも、なかなかスムーズにはいかずに、汗だくになる生徒もいます。

声かけも最初はとても緊張してしまうそうですが、慣れてくると顔見知りもでき、小さな子どもたちからは頼もしいお兄さん・お姉さんとして、いっしょに遊んだり、夏休みには宿題を教えてもらったりします。お年寄りは、孫のような生徒に目を細め、いっしょに食べて、見送ってもらうことをとても喜んでもらっているそうです。

「おいしいからみんなで食べるんじゃなくて、みんなで食べるからおいしいんだと思う」と、3年生のT君の感想は、この食堂のキャッチコピーになりました。

真帆片帆

「不易と流行」

頭治（こうじ）　宏（ひろし）
教諭　嶋五（しまご）

本年度4月に着任しました五嶋です。若いころ、佐伯で勤務したことがあり、とても懐かしい気持ちです。これから、伝統ある佐伯鶴城高校の更なる発展のために頑張る所存です。よろしくお願いいたします。

先日、全国国語教育研究大会が鹿児島で開催され、それに参加してきました。前日が雨だったせいか、桜島の火山灰は道路の隅にたまっていて、空気は澄んでいました。気温は10月下旬とは思えないほどで、街を歩く人たちの多くは半袖を着ていて、季節はまだまだ夏の雰囲気でした。

ところで、同窓の皆様は、高校の時の国語の授業といえば何を思い出されますか。個性豊かな先生でしょうか。あるいは、心に強く残った作品でしょうか。『羅生門』『山月記』『こころ』などの小説は多くの方の記憶にあるのではないでしょうか。古典では、『竹取物語』『源氏物語』などの古文、『論語』『史記～鴻門の会～』などの漢文は現在でも本校で使っている教科書には掲載されており、生徒たちは授業の中で作品に触れています。

ただ、扱っている作品は昔と同じでも、学習指導要領や大学入試が新しくなることで、授業の進め方については新しい発想での変化が求められています。先生の講義が中心の授業から、ペアワークやグループワークを取り入れて、級友たちと意見の交換をしながら、思考力・判断力・表現力を高めるように、授業が展開されるようになりました。いわゆるアクティブラーニングの手法が取り入れられるようになってきて、教室は生徒たちが活発に活動する場となっています。さらに、各教室には電子黒板が整備され、タブレット端末を片手に授業をする先生方は多く、生徒たちも同様にタブレット端末を使って、調べたり、班の意見をまとめたりと、ＩＣＴ機器を使った授業が日常となりつつあります。

いわゆる「チョーク&トーク」の授業は、今後だんだんと姿を消していくでしょう。変化の速い時代に合わせ、テンポのいい授業展開となりつつあります。とはいえ、睡魔と戦っている生徒の姿は今でも健在です。私もそうですが、同窓の皆様も昼食後の5時間目や体育で水泳をした後の国語の授業は、先生の淡々とした説明の声が子守唄のように感じられたのではないでしょうか。

SSH

3年目はさらにグローバルに

SSH　防災研修　米国（ハワイ）

米国ハワイ諸島の研究機関及び現地の教育機関と共同研究や課題研究発表会を行うため、『ＳＳＨ米国（ハワイ）海外研修』を実施。キラウエア火山の噴火で災害のあった住民等へのヒアリングを通して、文化や習慣の違いによる考え方の違いに気づき、事前に調査した地元佐伯の防災計画とハワイにおける防災計画の比較をそれぞれの文化や習慣の違いに基づいて行うことによりグローバルな視点を身につけることが期待される。

10月22日～10月26日（３泊５日）、５名参加。

ハワイ大学マノア校においてチバ教授及び指導学生によるデータ解析及びデータの映像技術を活用した防災・災害への活用技術の可能性と課題を学ぶとともに、科学的なコミュニケーションのための英語力が身についていくことが期待される。

SSH　「世界津波の日」2019　高校生サミットin北海道

11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に、２０１５年の国連総会において、日本が提唱し、１４２ヶ国が共同提案を行い、全会一致で採択されました。世界共通の脅威である大規模自然災害に対し、災害の記憶を教訓として防災・減災対策に取り組むとともに、ひとたび災害が発生した際には、迅速な避難などにより命を守り、その後は速やかな復旧・復興、また、「より良い復興」に向けた行動をとることが求められており、そのためには世界各国の相互理解と連携が欠かせません。

本年は、北海道において、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靭化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」を一層深めることを目的に開催されました。

9月10日～9月11日、３名参加。

SSH　防災研修（福島方面）

地震や津波に係るデータを収集したり、震災からの復興をどのような視点で進めているか、地域の再生に自然環境や科学技術をどのように活かしているかを知る。被災体験のある高校生と意見交換することで、科学的探究力を向上させることを目的に参加。

2019年9月9日～9月11日、13名参加。

※SSHとは文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール。平成29年度から5年間指定、本校のテーマは「未来を創生する科学技術系人材の育成プログラムの開発」です。

令和元年度　関東・関西佐伯鶴城同窓会総会・懇親会

関西佐伯鶴城同窓会総会・懇親会　９月８日（日）
ホテルヴィスキオ尼崎にて

関東佐伯鶴城同窓会総会・懇親会(兼新上京者歓迎会)
５月11日(土) 東京グリーンパレス
箱崎睦昌氏（17期）の講演を聞き入る同窓生

健児の前途（ゆくて）

脇　谷　みどり（高24回生）

1953　大分県佐伯市生まれ
1974　関西外国語短期大学卒業
　　全日空㈱入社（グランドホステス）
1978　岡山市民童話コンクール佳作
1990　「とべ！パクチビクロ」処女出版　童話作家として活動を始める
1999　癌を明るく前向きに語る「つなぎ」の会の「生まれた日のように」作詞
2008　「KANOKO MEMO」が毎日新聞大阪版に11年間連載
2011　「希望のスイッチは、くすっ」出版
2017　「晴れときどき認知症」出版
　　映画「キセキの葉書」完成　現在地方のホールで上映中

サケは生まれた川の水の香りを覚えていて、遡上すると言います。中には、迷って帰ってこられないサケも何匹かいるのではないか。私はその一匹でした。鶴城を卒業してから50年。固く閉ざした花が開くように、私の半生を題材にした一つの映画『キセキのハガキ』が取り持つ縁で帰ってくることが出来ました。その準備期間の連絡で、心の遡上をしながら、佐伯の皆様の温かさと、同級生の心に触れ、人生の不思議に感動しています。迷いサケただ今帰還いたしました。

脳性まひの娘(37)との生活は、当たり前のことが出来ないことだらけでした。それでもいつしか鶴城で培った、質実剛健を旨とする九州の女は立ち上がり、それなりに社会との接点を求めてきました。「そうだ、どうしようもないことを宝としよう！」と。

障がい者の社会も、今や、助けてくださいでなく「バリア・バリュー」が叫ばれています。自分のマイナスポイントこそ価値に変えていく。このダイナミックな発想の転換は、もう歳だからという安住をはねのけ、心を奮い立たせてくれます。若い人も励ませますよ！15年目を走っているラジオのパーソナリティーとして、フリーのライターとして、介護人として私には生まれた川があると、さらに自信に満ちて生きていけそうです。

最高齢 103 歳！ 会費納めています！

その後の森家と森竹家は・・・

100周年記念の広報誌で紹介した4世代鶴城生の皆さん。益々増えています。

石川 ヨシエ(高女21)
森 清子(高校13回生)
森 寛(36回生)　森竹 直美(38回生)　森 誠(41回生)

森 勇(68回生)　森 悟(69回生)　森竹 希望(66回生)　森竹 光(72回生)　森 彩花(73回生)

同窓会費はいつでも受け付けています。

同窓会費はこちらまで　**年会費　3,000円**

ゆうちょ銀行
加入者名　佐伯鶴城同窓会
口座記号番号　01740-6-47995
住　所 〒876-0848 佐伯市城下東町7-1

ただし、終身会費として、下記のような納め方もあります。

終身会費
（現在70歳から79歳の方は、20,000円）
（現在80歳以上の方は、10,000円）

会費は母校のために使わせていただいております。

○英検受験費用の補助　○大学訪問交通費支援　○「鶴城未来塾」（同窓生を講師にした講演会）の支援　○リーダー育成奨学金　○部活動の補助
○休日自主学習を指導する教職員に日当支援　○予備校活用援助（特別講師の招聘、教師の研修・生徒派遣）等　○会報の発行・送付

編集後記

今号の「詩趣豊かなる」の担当になり、この時期は秋バラが盛期のはずと「海の見えるバラ園」の撮影にお伺いした。

「バラ園」は坂の浦、本田重工業裏手の丘の上にあり、広大な敷地に二五〇種五千本のバラが植栽されている。

園主の菅秀一さん（高校20回生）によれば、今年は多雨のせいで秋の開花が、一週間から10日ほど遅れているとのこと。不定休で開園時間は午後一時ごろから夕方までとなっており、訪問される場合は園主０９０－８６６２－５６１２に確認されることをお勧めします。

そのため急遽、米入津の「空の展望所」に向かったところ、望外の絶景に出会った。

この展望所は「釣りバカ日誌」の撮影場所でも知られ、入津湾のリアス海岸越しに鶴御埼灯台、はるかに四国が見渡せる一級の景勝地である。

撮影場所を探していると展望台の中ほどに5～6米の桜の樹皮をした樹に小ぶりの桜花が咲いていた。

10月に桜？足元を見れば秋桜が満開、芝桜も4～5輪ほど咲き残り、やや色の褪せた紫陽花も群生しており思わぬ眼福にあずかることが出来た。ネットで調べると「十月桜」と呼ばれている春と秋の二度咲きの種類のようだ。

「かかる自然にはぐくまれ、かかる史跡に鑑みる…」我が町佐伯は誠に良いところである。

後藤 公志（高19回生）